

様式4

令和6年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立日野高等学校

学校長 坪倉 寿樹

評 価 日	令和6年6月13日(木)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 目標設定について</p> <p>現在行っている学びが将来に結びつくように「たくましく生きるための学力」から「未来へ羽ばたくための学力」に変更したことについて了承された。</p> <p>2 評価項目と目標達成のための取組について</p> <p>「地域貢献力の育成」を「地域活躍力」に変更したことで、生徒自信が活躍するというイメージを持ちやすいし頑張ろうと思える。</p> <p>生徒の表現力を高めるための「魅力発信」については、了承された。</p> <p>3 具体目標について</p> <p>昨年度の実績を踏まえ、目標の数値を高めた部分について、了承された。</p> <p>4 目標達成のための具体方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの使用を教員が率先して行うことで、生徒も率先して使用することに繋がる。 ・地域で活躍することについて、肯定的な回答、否定的な回答がともに45%だった。学校での分析は必要。 ・新型コロナウイルスの影響で、学校の活動が停滞し、コミュニケーションを取れない生徒が多い。 ・大学や、専門学校などの上級学校と連携は必要。 ・地域で活躍することで、自己肯定感、自信をつけて欲しい。 ・地元企業（サントリーなど）と連携した取組、林業などに就職をして欲しい。 <p>5 その他</p>	<p>○地域資源を生かした学びを特定な授業だけでなく各教科での実施と広げていきたい（スーパーアウトドアハイスクール構想）</p> <p>○生徒一人ひとりが活躍できるように、今後もスクラップ&ビルドしていき特色ある活動を推進する。</p> <p>○現在の生徒は言葉だけでなく、芸術、ICT、行動等によって自分が意図したことを表現できる力の育成が必要である。</p> <p>○全ての生徒が肯定的な回答をする事業が望ましいが、身につけさせたい力を伸ばすために計画している。困難を感じる、否定的な意見もあるのは承知している。しかしながら、生徒は人との出会いの中で気づき、成長していくものである。今後も生徒が主体的に学び考えられるようにしていきたい。</p>	

